超高齢者に対する消化器外科領域手術の
安全性に関する後向き検討に対するご協力のお願い

研究責任者　　所属　外科　職名　医師
氏名　堀　　佑太郎
TEL　075-641-9161(代表)

このたび当院では，90 歳以上の超高齢者に対する消化器外科領域手術の安全性に関する下記の医学系研究を，倫理委員会の承認ならびに病院長の許可のもと，倫理指針および法令を遵守して実施しますので，ご協力をお願いいたします.

この研究を実施することによる，患者さんへの新たな負担は一切ありません．また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします.

本研究への協力を望まれない患者さんは，その旨を「８ お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします.

１　対象となる方

2010 年 1 月 1 日より 2024 年 12 月 31 日までの間に，外科で消化器外科疾患で手術を受けられた方

２　研究課題名

承認番号

研究課題名　　超高齢者に対する消化器外科領域手術の安全性に関する後向き検討

３　研究実施機関・研究責任者

国立病院機構　京都医療センター　外科　堀　佑太郎

４　本研究の意義，目的，方法

近年本邦では高齢化が急速に進行し、今後もその傾向は変わらないことが想定されます。老年医学の分野では 65 歳以上の高齢者のうち 90 歳以上を「超高齢者」と定義しており、こうした患者群では生理機能や栄養状態の低下から高率に病的状態に結びつき、臓器機能も低下すると言われています。このような背景を持つ患者に対する手術は、術後合併症率や死亡率が高く手術は危険であるとする報告も散見されます。その一方で現実には超高齢者にも手術を行わなければならない状況に遭遇することは多々あり、手術適応の判断に悩むことがあります。本研究は消化器外科疾患で手術を受けた超高齢者に焦点を当ててその安全性や合併症の詳細を検討することを目的としています、これにより超高齢者における消化器外科手術の現状を把握でき、より安全な手術適応の判断材料を

提供することができるようになる可能性があります。そこで 2010 年 1 月から 2024 年 12 月に当院外科で消化器外科疾患に対して手術を受けられた患者さんについて、患者さんの年齢による手術の安全性を調べる研究を計画しています。

５　協力をお願いする内容

上記期間中に手術を行われた患者さんの年齢や性別，併存疾患の状況，血液・生化学検査などの血液検査，診断・治療のために施行した CT や MRI，PET-CT などの画像検査，手術所見，生存成績，術後合併症の有無やその内容などについて，電子カルテから抽出し，分析に使用させて頂きます．分析結果は，国内・海外の学会や論文に発表を予定しています．

６　本研究の実施期間

倫理委員会承認日～2025 年 6 月 30 日

７　プライバシーの保護について

1) 本研究で取り扱う患者さんの情報は，年齢や性別，併存疾患の状況，血液・生化学検査などの血液検査，診断・治療のために施行した CT や MRI，PET-CT などの画像検査，手術所見，生存成績，術後合併症の有無やその内容に関するデータなどです．これらのデータは個人が特定できないようにした患者番号で管理を行い，その他の個人情報（住所，電話番号など）は一切取り扱いません．
2) 抽出したデータは当科内のみで管理し，他の研究機関等には一切公開いたしません．
3) 検査結果の正確性を確保するためにカルテを参照するため，抽出時にデータの匿名化は行いません．データ固定後は，特定の個人を識別することができることとなる記述（患者番号）を削除し，非識別匿名化情報として管理します．
4) その他，「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」を遵守し研究を行います．

８　お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は，下記へご連絡下さい．

また本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より，情報の利用の停止を求める旨のお申し出があった場合は，適切な措置を行いますので，その場合も下記へのご連絡をお願いいたします．

連絡先：

国立病院機構　京都医療センター外科　堀　佑太郎

TEL：075-641-9161（代表）

窓口：代表電話より外科外来に連絡

以上